

四條畷市教育フォーラム 2015

平成27年2月7日(土) 13:30~17:00

市立市民総合体育館多目的室

参加者

	教職員	保護者・地域	計
スタッフ	32	7	39
小学校	71	39	110
中学校	32	21	53
幼稚園・保育園	4	0	4
市役所	0	7	7
教委他府市町村	14	0	14
国府市議会議員	0	5	5
合計	153	79	232



アンケート設問結果

四條畷市教育フォーラム2015アンケート集計					2015.2.7	5.00満点				
	今回の内容は、あなたの期待にこたえていましたか				満足度	今後の子育てに参考にしようと思いましたが				活用度
	とても	まあまあ	あまり	まったく		とても	まあまあ	あまり	まったく	
小学校教職員	6	23	3	0	4.09	11	14	2	0	4.33
中学校教職員	1	8	0	0	4.11	1	8	0	0	4.11
保護者・地域	4	19	3	0	4.04	6	18	2	0	4.15
市職員・その他	2	4	0	0	4.33	2	3	0	0	4.40
全体	13	54	6	0	4.10	20	43	4	0	4.24

参加者意見感想

小学校教職員

- 保護者と教職員が一緒に志水先生の話の聞いたことはよかった。特に、茶の間で一緒に勉強することに効果があり、「勉強せい」はダメであると、はっきり教えていただいたことは、保護者にとっても十分参考になったと思う。これは、どこの家庭でもできることであり、学校からも発信していきたい。
- 家庭だけ、地域だけ、学校だけでは、子どもの学力は伸びず、バランスよく、支え合い、連携することが大切だということ、教諭・市職員・保護者・市民の全体に向けて話して下さったことが、よかったです。
- 初めて参加させていただきました。今までの取組みを振り返っていて、あれはこれをしていたのかと思うことがたくさんありました。学力向上の取組みとは知らず、パンフレットやリーフレットなどの配布物を流してしまっていたと反省しました。知らず知らずのうちに、取組んでいたものもありました。まだ取組めていないものは、これから前向きに取り組んでいきたいなと思いました。報告もとても分かりやすく、実践できそうだなと思いました。学力担当者の方、お疲れ様でした。志水先生のお話も、聞きやすいお話でした。
- 志水先生の話はとても分かりやすく良かった。子ども一人ひとりの特性を大切に、毎日努力したいと思います。
- 地域・保護者の方と一緒に、つながりが大切という話を聞いて良かったです。
- 「時間を決めて勉強する環境を保障する」というのが、子どもたちにとっても自分自身にとっても大事だなと、とても印象に残りました。また「ハビトゥス (habitus: 習慣・態度の意)」、勉強や宿

題、外遊び、朝ご飯や歯磨きそれぞれがやらないと気持ちが悪いという想いに至るよう、習慣づける取組を考えていきたい。

- 中学校報告、小学校の報告を聞きながら、来年度に思いをはせていました。この時間のうちで、アイデアがいくつか出てきました。その一つは、小学校のテストで解答用紙に書かせる機会をつくることです。小中の段差をなくす、小さな手立てとして実践してみようと思います。この時間にアイデアは生まれるということは、このフォーラムが刺激になっているに違いありません。スタッフの皆様感謝します。
- 志水先生のお話を聞いて、地域に根差した教育の大切さを改めて実感しました。四條畷の子どもたちの学力も、地域の人々と連携して、向上していきたいと思います。
- 志水先生のお話。特に実際に見られたり、経験されたりした話は、共感するところもあり、納得できるところもあり、興味深く聞くことができました。
- 今日お話をきいて、昔（初任者のころに）先輩の先生から「子育ての主役は子ども」「その周りを取り巻くすべての大人が、主役を支えていかなければならない」と教えてもらったことを思い出しました。一人の教師、一人の親ががむしゃらに頑張るのではなく、いろいろな人々とつながり、力と知恵を出し合いながら、子どもたちを育てなければと思いました。（資料A3版ですが、狭い座席でA3版は扱いにくかったです。次回ご検討下されば幸いです。）
- 学習ハビトゥスの話はとても納得できました。教職員としては、“きたえる”（福井の例）ことを大切にしていきたいと改めて感じました。志水先生に本市の取組みについて、提言頂けるともっと有意義になるのではとも思います。会場内から意見・交流ができる場もあればうれしいです。
- 「地域との連携」よく耳にする言葉ですが、改めて大切さに気づきました。
- 自学自習というのは、自主学习ノートを管理することが大切なんですか？自主学习ノートの意義がよく分かりません。テストの点数を上げることが目的なら、そうはっきり言った方がいい。「笑顔が見たい」とかきれいごとを言うから、目的や意義がぶれる。
- 子どもの育成にあたり、学校・保護者・地域のつながりが薄い場合、学力向上などの課題が言われる理由はわかるが、その改革策が抽象的に見られたように感じました。子どもたちの学力（だけでなく様々な力）を育てるためには、学校・家庭・地域がそれぞれの特性を活かし、バランスよく支え合うことが大切だと知ることができました。教師としてやれることはたくさんやっっていこうと思います。
- 学力向上のための各学校の実践は聞いて良かった。「自主学」の取組みでは、同じ悩みがあったので参考になった。「つながり力」連携、連携といっているが、どこまで影響があり、どこまで大事なものがなかなか実感できなかったが、お話を聞き、データを見て、そこまで違いがあるのかと驚いた。「環境によって子どもはつくられる」貴重なお話ありがとうございました。
- 志水先生のお話、とても良かったです。
- 実践報告の学力向上3ヶ年計画について、授業力向上の取組みや小中連携、家庭学習、Bloomingプランについて、いろいろと取組まないといけないかと再確認することができました。大変なこともありますが、子どもたちにとって、そして、四條畷市の未来にとって、よいことはどんどん前向きに取り組んでいこうと思います。
- 今後の学力向上3ヶ年計画のことがわかりました。自学ノートの実践は、目的・方法・課題がわかりやすくとても参考になりました。志水先生のお話では、学校と地域、保護者のつながりの大切さがよくわかりました。地域、保護者ともっとつながっていければと思いました。
- 学力向上プロジェクトチーム会議で話し合われたこと、取組み内容については、各校で報告・実践されているので、教師側にとっては、この教育フォーラムは（前半の報告部分）さほど、目新しい

ものではなかったが、保護者向けにも学校の取組みを伝えてもらったのはよかった。冒頭の市長の話も、家庭教育の重要性をきちんと下されたのは、ありがたい。もちろん教師は学力向上に向け、精一杯の取組みをする。特に四條畷の子どもたちは、家庭の協力が得られにくいことが、学力が低い原因の一つであるので、どうやったら家庭の協力が得られるのかが一番重要であり、また一番難しい課題だと思う。教育フォーラムは第1回から参加しているが、志水先生のお話は分かりやすくいいと思う。学校側（&市教委側）からだけでなく、ずばっと第3者の立場から保護者、地域に話をしていただける講師を毎年招いてほしいです。手話通訳・要約筆記の方がいらして、“みんな四條畷の教育を”という姿勢が感じられよかったです。

- 志水先生のお話によって、さまざまな学校の具体的な事例を基にして、子どもにとって、子どもの育ちにとって必要な条件、環境を教示いただけたと思う。
- 「つながり」のキーワードが心に残りました。地域とのつながり・家庭とのつながりを大切にしたいです。応援してもらえるような学校体制が必要。まずは職員のチームワークを結び、家庭での「勉強したくなる」声かけ。大人も子どもと一緒に学ぶ姿勢
- 家庭の役割について、具体的でわかりやすかった。3本の竹のつながりが大事であること。
- 市教委、学校が取り組まれている内容、私の学校も含め、しっかり身につけて、子どもたちに教育に成果ができるようにしていかなければと思った。新たなプランを再確認しながら、前進していきたい。①読書「勉強しろと言わない」 ②家の中に勉強する場をつくる 時間を保証する できれば見てあげる ③親が勉強している何かに打ち込んでいる姿を見せる
- 自主学習ノートを小1から実施ということだが、学校の宿題提出が100%ではないのに、実態的にハードルが高い気がする。このことを進めていくためには、地域・保護者への理解説明がかなり必要だと思う。
- 学校関係者が多く、もっと地域の方も参加してもらえるようにしなければいけないのではないだろうか。学校の取組みについては、よく分かりました。改めて、保護者と連携して、子どもたちを見守り、よりよい環境をつくっていく必要があると感じました。
- 地域の人参加が少ないのが気になります。「地域とのつながり」「家庭学習」など、地域の力を借りなければいけないのに、その地域の方々が来てないのでは、このフォーラムを開く必要、意味はないのでは。と思いました。また、市議の方々の不参加率が高いのには驚きました。四條畷市の教育にあまり関心がないのではと思います。誰のために、何のためにこの教育フォーラムを開くのか、せっかく開くのであれば、もっといろんな人に来てもらえるような工夫がいるのではないかと思います。教育関係者のみであれば、平日か、夏季休業中の研修会という形でやってもいいと思います。会場が最初とても寒かったです。

中学校教職員

- 地域・学校・家庭の連携がとても重要。子どものゲームの時間やSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）、スマホなどのマナー・ルール作り、保護者の管理責任の意識向上には、どうすればよいのか考えさせられる。小中連携はとても重要であり、これからもどんどん進めて生きたい。
- 3ヶ年の学力向上の取組み、皆さんご苦労様でした。次の3ヶ年で課題が達成できるよう共がんばりましょう
- とても勉強になりました。自分自身でもっと教育に対して、勉強しなければならないと感じさせてもらいました。
- 今回の研修を聞いて、小中一貫の取組みや自主学習の取組みなどから、生徒・児童への確かな学力が少しずつできているのではと考えました。この取組みを担当の方がやるのではなくて、学校全体

で把握して取り組むべきであることをとても強く思いました。市だけではなく、教師一人ひとりが理解して取組めば、もっと素晴らしい成果が出ると感じました。

- 今日の講演を聞いて「学校・家庭・地域」が一体となって協力することの大切さを再認識しました。
- 「ハビトゥス」「フンタンの3本の支え」「バランス」非常に勉強になった。明日からの力の方向性が生まれました。
- 「ハビトゥスをつくること。コミュニティで子どもを見守るすこやかネットの考え方を実践していくことが大切である」そのことを自ら実践すること！

保護者・地域

- 小6の娘が「自学」に取り組む様子を見ていて、自分で考え、取組んで「今の小6の宿題ってむずかしいな」思ったのですが、今日の説明で、なるほどなど、初めて自学をさせている理由を知りました。このような小中連携で、スムーズに中学生活、授業に慣れてくれたらいいなど、少し不安は減りました。
- 志水先生のお話を楽しみにしていました。今年もデータに基づいた興味深いお話を聞いて、とても参考になりました。親として、学力に関して非常に大きなジレンマを抱えています。今後の子どもたちとのかかわりに大いに生かしていきたいと思います。昨年度のようなディスカッションも見なかったです。
- もっと具体的に、今から実践できる内容も聞きたかったです。
- 取り入れていこうと思うことが多々ありました。子どもたちと一緒にいろいろ考えていきたいと思いました。
- 自主学ノート、自分の子ども（小5）も宿題でできているが、苦手なことなどを克服してほしいのに「好きな本ベスト5」とかばかりしている。子どもに云うと「先生に好きな勉強したらいいといわれた」と、取り合おうとしない。最初の報告でも「提出」が目的化していると課題が上がっていたけれど、自主学が今後、必須化されるのであれば、家庭と子どもと学校の共通ルールを持つか、少なくとも子どもと学校とのルールを家庭にも知らせてほしいと思った。志水先生のお話、分かりやすかったです。自分の子どもたちにできることをしていきたいと思う一方、学力の高い地域にも「つながり力」から外されて、苦しんでいる子どももいるだろうと思う。その子どもたちは、どのようにフォローされているのか、四條畷でそういったフォローが見習えないかと思いました。
- 「宿題をしないと気持ち悪い」というようなことは昔思ったことがあります。両親にもアドバイスをもらわないといけいなあとと思いました。家庭でも、授業でも、習慣がどうやったらつけられるか考えていきたいです。
- 経済面の持ち家率の相関のことについてですが、持ち家、借家、その生活の価値観、大家族、核家族3世代の、その土地の方々、転勤族など、様々なケースがありますので、あまり相関関係がないと思います。格差社会の貧しいという事は決して子どもたちにとってはマイナスではないと思います。辞書を引くというお話はすばらしいです。ITに振り回されず、新聞や書物、なんでも楽しんでの勉強はものにならないと思います。保護者も向上する気もちが大切だと思いました。家庭教育、学校教育、社会教育もありますが、根幹は家庭教育が大切だと思いました。
- 四條畷の教育、学力向上に力を入れているのがよくわかりました。
- 保護者には少し難しい話でした。志水先生のお話はすごくためになり、楽しかったです。
- 報告について。子どもたちのために様々な工夫を凝らして取組んでくださっている先生方に改めて感謝の気持ちです。講演について。もう少し、我々の現状からすぐに取り掛かれるような具体的な

実例が聞きたかった気持ちです。

- 先進国中でも最も子どもにとって生きづらい国（6人に1人が貧困状態にある）において、「学力向上」は、まず学力向上の種を植えるためには、その畑を耕す必要があると思います。「畑」は物理的な教育環境と、子ども同士、子どもと先生、子どもと地域の人々との人間関係づくりというハードとソフトがそろって初めて成しうるものと考えます。
- 志水先生の子どもに勉強をさせる意欲方法が勉強になり、参考にしたいです。
- 先ず第一に思ったこと。他の地域の教育方針をまねるのはよいと思いますが、四條畷独自の方針に変化させることが必要だといえます。秋田、福井、大阪では環境が全く違います。同じやり方を持ってきても、到底合うわけがありません。子どもたちはどの地域でも純粋であります。この地域の方々ともっと話し合っ、教育フォーラムのありかたを考えた方がよいと思います。有識者、行政、各種団体長、学校関係者などでパネルディスカッション形式で行う方が聞いている方も頭の中に入ると思います。後、この地域の学校などの情報をもっと取り入れた話がいいと思いました。よい情報よりもよくない情報の方がもっといいと感じました。

その他

- 興味深いお話を多く聞くことができました。特に、実践報告はとても参考になりました。今日の学びを、少しでも生かしていこうと思います。
- 志水先生のお話では、今まで知らなかった秋田や福井の現状を知ることができ、大変興味深かったです。社会の仕組みが変わる中で、その地域の実情に合わせた地域・保護者との連携を模索できる教師ならねばと再認識する機会となりました。（教職希望する大学生）
- 志水先生の話は大変勉強になりました。

